

# 高市流ファッション 浮かぶ狙い

高市首相の服装を専門家が評価すると…

日米首脳会談

10月28日 東京・迎賓館

米海軍  
横須賀基地訪問

10月28日  
神奈川県

濃紺の  
パンツスーツ

シーンに合  
わせてヒール  
の低い靴に



大容量のバッグで  
実務に強い印象に

淡い同系色の  
ジャケットと  
ワンピース

同系色でまとめ  
て優しい印象に

「一枚もの」  
のワンピース  
で格調高く

「ロイヤルブルー」で  
知性と冷静さを表現

所信表明演説

10月24日 首相官邸

ロイヤルブルーのジャケット



## 伝統・清潔感・品格 令和のリーダー像

高市早苗首相は10月21日の就任以降、日本憲政史上初の女性首相として高い支持率を誇っている。その人気は流行語となった発言だけでなく、場面に応じて変わる服装にも及ぶ。高市首相のファッションの狙いや効果を、服飾の専門家などに分析してもらった。

(永礼もも香、長谷川穂子、市野澤光)

―1面参照

■サッチャーを意識  
首相のトレードマークとして知られている青いジャケット姿は、「ロイヤルブルー」と呼ばれる鮮やかな青色。首相が尊敬し、「鉄の女」の異名を持つ英国の第71代首相、マーガレット・サッチャーも青色を好んでまとった。服飾史家の中野香織氏は「青は知性や冷静さの象徴でもある。サッチャーを意識しているのではないか」と語る。青系統は日本の伝統色

の一つでもある。「サッチャー日本代表のサムライブルーでも知られるように、挑戦者の色でもある。強さや伝統を取り入れてアレンジしており、初の女性首相にふさわしい色合いだといえる」(中野氏)

■ワンピース好印象

「だらしなさがなく、圧倒的な清潔感がある。有能さや信頼感を示すことにつながる」。イメー

■TPOもわきま

ワンピースのような「一枚もの」は格式が高く、権威を示すことができる。ジャケットはウエ

## 青こだわり 過去には赤も



衆院選で初当選した際、高市首相は赤色の服を着用していた

―平成5年7月

高市早苗首相が着ている服は青や紺など、落ち着いた印象を与える色合いのものが多い。首相側近は「明るい色の服も着たらどうかと勧めたが、結局同じような色の服を着ている」と話し、「政策と一緒に、本人のこだわりがあるようだ」と分析する。ブランドでは「ジュンアシダ」がお気に入りだ。

10月の自民党総裁選の直前には周辺から「イメチェン」を求められ、ファッションを追求した。平成5年の衆院選で初当選した際には、赤のセットアップで支持者からの祝福を受けた。ピンクや黄色などの明るい色の服を着ることも多く、「気に入った服があ

ると、通信販売で同じようなデザインの服をたくさん買っていた(周辺)という。首相本人は11月21日、南アフリカで開かれた20カ国・地域首脳会議(G20サミット)に向かう途上、X(旧ツイッター)で、「外交渉でマウント取れる服、無理をしても買わなくてはいかんかもなあ」と、服装に関する考えを明かした。

るの適切な服装ができのだろう」と話した。ただ、物価高が社会問題化するなか、政治家の「おしゃれ」には独特の難しさもある。11月の参院予算委員会では、経済活性化を巡る野党の質問に対し、首相から「15年前の服も引っ張り出して」との答弁も出た。

選挙アドバイザーの野沢高一氏は「庶民感覚をアピールしたかったのか、もしれないが、身だしなみに品格が求められる国民の代表としては良かった」と話した。